

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和49年度～		
総合計画 大項目 基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり	根拠法令・例規等 社会教育法 備前市立公民館設置条例
中項目 基本施策	02	生きがいのあるまちづくり	
小項目 施策	04	公民館	
事務事業名	07	地区公民館運営事業	問 担当課(室) 中央公民館 合 職・氏名 館長代理 森中信行 先 電 話 64-1133 このシート作成に要した時間 2.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市内13地区に在住の住民
目 的 (何のために)	地区住民のニーズを取り入れた特色のある講座、教室等を企画して学習発表の場を提供する。広報、市ホームページを活用して公民館活動を積極的にPRする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	地区公民館管理運営事業	施設整備を行うことにより、利用者に最適な生涯学習の場を提供する。	
	地区公民館運営審議会事業	運営審議会は、館長の諮問に応じ、各種事業の企画実施について調査審議する。	
	地区文化祭運営事業	地区住民の文化向上に資することを目的とした事業。	
	地区体育祭運営事業	地区住民の健康の増進を図ることを目的とした事業。	
地区社会体育事業	スポーツ活動を通じて、地域コミュニティの育成を目的とした事業。		

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	42,596	44,491	41,955
	必要人員	人	0.84人	0.81人	0.61人
	事業費	千円	6,853	6,750	5,281
	事業費	千円	49,449	51,241	47,236
	国庫支出金				
受 益 者 負 担		436	249	1,088	
繰 入 金					
市 債					
その他()		345	266	542	
一 般 財 源		48,668	50,726	45,606	
受 益 者 負 担 比 率	%	0.9%	0.5%	2.3%	
結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	結果指標量	説明	平成24年度に地区公民館(13館)を利用した人数	69,805	80,735
	対 前 年 比	%	76,979	-	115.7%
	活 動 コ ス ト	円	49,449,000	51,241,000	47,236,000
	単 位 当 たり コ ス ト	円	642	734	585

事業の成果					
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
年間利用者数	目標値(A)	100,000	100,000	80,000	80,000
	実績値(B)	76,979	69,805	80,735	到達目標値
	達成率(B/A)	76.98%	69.81%	100.92%	100,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
平成23年度に地区公民館(13地区)を利用した人数。利用者数を数値化することで、公民館のニーズ等の状況を把握する。					

事務事業の評価			該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要性	Check
	市民ニーズ	コスト	
効率性の評価	コスト	手段	
	目的達成度	市民参画度	

進行年度(H25年度)の改革改善内容						
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説 明	各館の職員が定期的に情報交換を行い、新規利用者を開拓できるような講座等の事業を企画して利用者数の増加を図る。					

総合評価	
生涯学習の拠点として、文化芸術の振興及び災害時の避難場所となる重要な役割を担っている。しかし、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、また利用者に偏りがあるため、今後も地域受民への公民館活動の周知を行うと共に利活用の推進を図る。	総合評価 B

平成26年度の方向性・取組目標						
方 向 性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取 組 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検、法定点検等の報告書から、施設整備計画を作成する。光熱水費の削減可能な事項を定め、経費の削減を図る。 ・文化活動を推進する。新規の講座を企画し開設する。民間等との共催事業も検討する。 					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら